

地域防災計画の見直し

協働推進課では消防・防災対策の充実及び防災・減災意識の向上を重点施策に掲げています。令和4年度において地域防災計画の見直しを行います。

Q 地域防災計画の見直しについて大まかな重点見直しはなにか。

A 全体的な文言、表現の見直しがメイン、避難行動支援者の個別避難計画や、支援者の設定。土砂災害警戒区域や浸水増水区域に位置する要配慮者政策の一覧表の掲載、行政がすべきこと、住民がすべきこと、防災機関がすべきことについて強く表現をしていきたいと考えている。

Q 予算が計上されていないが、外部委託等ではなく自前で行うのか。

A 策定については職員が行い委託しない。



自前でやるのはいいことだと思う。自分たちの計画は自分たちで作ったほうが町にあったものになるだろう。

マイナカード取得率4割

マイナンバーカードの申請・17,107千円
交付・更新に係る経費、人件費・人材派遣委託料・機器リース料等を計上しています。

担当課 住民課

Q マイナンバーカード制度が始まって8年、町の業務は軽減されたか。

A 転入などの入力は省略できるようになった。住民の方にとってもコンビニで証明書の発行ができるなど活用がみられる。一方、5年ごとの暗証番号の変更などで町の業務は増えている。

Q 8年かかっても取得率が伸び悩んでいる原因は何か。

A 個人情報の流出懸念や保健証、接種証明などの対応が遅れているためと考える。今後は地域に出向き申請受付をしたい。

広報編集員を2名新規採用

町の魅力発信を強化

Q 新しい広報編集員の採用について期待するところはなにか？

A 町の情報発信に課題があると認識している。今回、元新聞記者と動画編集者を採用している。YouTube等で町の魅力の対外的発信を強化していきたい。



新たに採用された園川さん（左）と森下さん（右）

ごみの減量対策

生ごみ処理容器購入補助

200千円

ごみの量削減のため生ごみ処理容器の購入を補助します。本年度は、モデル的な取り組みとして10基（2分の1 上限2万円）です。

Q ごみの量の増減の状況は。

A 可燃ごみは減少傾向。不燃ごみはわずかながら増加傾向である。現在コンポスト、EMバケツの補助など行っているが、その後の処理が難しい家庭もある。そこで生ごみ処理容器を使用し、さらに、ごみの減量ができないかと考えている。



広川球場照明もLEDへ

60,415千円

公共施設の適切な整備を行い、長寿命化を図り財政負担軽減に努めます。

その一環で広川球場の照明灯のLED変更工事を行います。併せて天神浦ため池の測量等も行い